

令和4年度 青少年育成作文 優秀賞①

青少年育成推進協議会では毎年、小中学生を対象に作文と標語を募集しています。今年度の優秀作品を紹介します。



あの子に出会って
南関中学校 二年 牧野 颯花

「私もあの子のようにカッコよくなりたい。」春の心地よい風が吹く昨年の四月のこと。私は中学校に入学したばかりだった。小学校に比べ、人数はびつくりするほど多い。だから一人一人考えていることが全く違い、個性があふれる。私は名前と顔が一致するまでに時間がかかった。私があの子に出会ったのはこの頃。最初は私と性格合わなさうだなあなんて勝手に思っていた。しかし、一年を通して関わっていくと、彼女のことをカッコイイと思うようになっていった。例えば、一分前着席の呼びかけや授業中の発表など、私には絶対できない

ことを日常のようにやっていた。その中でも私が特にカッコイイと思うのは彼女が行動力を発揮するときだ。彼女は常に周りを見て行動している。ある日の体育の授業の時、体育委員会の人が二人とも休んでいた。私を含むクラスみんなが何をしていたのか分からないからオドオドしている中、「私並べようか？」と声をかけてくれた。自分の担当ではなくてもみんなのために進んでくれるってすごいなあと思った。

もう一つある。それは、積極性だ。私は授業中に意見発表することが苦手だ。そう思っている中、一年生合同の授業があった。それぞれの班で意見を出し合う場面があった。私は彼女と同じ班だった。彼女はたくさん意見を出し、具体的にどういふことなのか述べていた。私はただうなずいて聞いているだけだった。今までの自分を振り返ってみると彼女に頼りっぱなしだったり、積極的に行動していなかったと気がついた。いつまでも頼ってばかりではいけないと思う。彼女に出会って自分から積極的に行動することの大事さを改めて実感した。しかし今も、私はまだ積極的に行動できていないところが多い。積極的に行動したり、周りを見て判断することが出てきている彼女は私にとって「カッコイイ」と思える存在。そのような彼女を見習って私も周りを見て行動したり、何にでも積極的にチャレンジしていこうと思った。

二年生になった。私は学級委員としてとても重要な役割を任されている。自分にできるか分からない、不安、責任感を感じた。逆に、「これは自分が成長するチャンスなのかも。」と思いは、小さなことから始めた。電気をつけたり、消したり、トイレのスリッパを並べた。人に直接かわかることは多く、地味かもしれないがこれはすごく大事なことだと思う。必ず誰かの役に立っている。積極的に行動することは簡単ではないが私はこの小さい二つのことから始めている。



ジェンダーレス社会
南関第四小学校 五年 星先 一慶

ジェンダーレスとは、「男だから」「女だから」というジェンダーギャップをなくそうとする考え方のことです。前にユースで、南足柄市が、来年度から導入する私立中学校の「ジェンダーレス制服」を報道陣に公開した記事を見ました。男女のスカート、スラックスを自由に選べる形で、市教育委員会は、「男女ともに性の多様性を認めよう」と、好きな組み合わせができるようにした。」としています。ほかにも、男性の育児休業取得率については、「少子化対策大綱」において、二〇二五年には、取得率三十パーセントにすることを目標としています。しかし、厚生労働省の「令和元年度雇用均等基本調査」の事業所調査によると、七、八四パーセントにとどまっています。男性の育児休業取得率向上は、かねてからの課題だそうなんです。これらのユースを見ると、「男だから」「女だから」という考え方は違和感があります。だから、自分も「男だから」「女だから」と言ったりしませんが、これから、日本や世界では、ジェンダーレスの考え方が求められていきます。男の人も女の人もみんなが性別に関係なく、助けあえるような社会にしていきたいです。



～男女共同参画社会を実現するために～

お互いに寄り添う気持ちを持ちましょう

共働き世帯の増加に伴い、夫婦で協力して家事・育児等をする家庭が増えているのではないのでしょうか。家事・育児等のかかわり方は、それぞれの家庭によって違いがあります。他人の家庭と比べることなく、お互いに思いやり尊重し合うことで、柔軟に協力し合える関係につながります。

かけがえのないパートナーだからこそ「男性だから」「女性だから」と性別にとらわれることなく、まず目の前のパートナーに寄り添う気持ちを持って日々接してみませんか？



日々の家事や育児等の項目を洗い出し、どのようにシェアし、支え合うのがよいかを確認し合うため内閣府が作成したシートです。



これからの家族のこと一緒に考えてみよう！



健康情報 ～食塩摂取の目標量について～

健康のための食塩摂取の目標量はご存じですか？

1日の食塩摂取の目標量は
男性7.5g未満
女性6.5g未満

※高血圧や慢性腎臓病(CKD)の人は6.0g未満
厚生労働省「日本人の食事摂取基準2020」より



食塩、とりすぎていませんか？



カップラーメン 5.5g



梅干し1個(10g) 2.0g



かまぼこ5切れ(50g) 5.5g



みそ汁 1.7g

厚生労働省「令和元年国民健康・栄養調査」によると

1日約3～4g多く摂り過ぎています!!

少しの工夫で減塩できます！食生活を見直してみましょう。

★広報なんかん1月号は、～食塩のとりすぎが招く危険性について～ 掲載予定です。